

東京海洋大学 海洋工学部

Beyond the oceans, catch the future



漕ぎだそう、
未知なるキミへ

海事システム工学科

海洋電子機械工学科

流通情報工学科

Beyond the oceans, catch the future.

漕ぎ出そう、未知なるキミへ

History

- 1875 私立三菱商船学校設立
- 1882 官立東京商船学校設立
- 1925 東京高等商船学校と改称
- 1925 高等商船学校設立
- 1949 商船大学商船学部設置
- 1957 東京商船大学と改称
- 1974 大学院商船学研究所設置
- 2003 誕生東京海洋大学
- 2004 国立大学法人化

海洋工学部の教育目標

Educational Goals

- 01 海上運輸を理解し、社会のリーダーとして求められる実践的指導力を養う。
- 02 地球環境への科学的認識を持ち、工学的視点からその利活用・保全・実践を実現する能力を培う。
- 03 論理的思考、状況に応じた適切な判断力、そして責任感を持って行動する能力を養う。
- 04 専門知識を含む幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、課題を探究・解決する研究能力を開発する。
- 05 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養を身につける。

Message

四方を海で囲まれた日本は、海外と人と物の交流を行うために船という輸送手段が必要でした。そのため、海洋工学部の前身である東京商船大学は三菱商船学校として明治時代に隅田川の河岸に設立され、その後、本学は120年を超える歴史の中で海運業界に優秀な人材を送り出してきました。昭和、平成の時代を経て人の輸送の主体は航空機に移りましたが、令和の現代においても貨物輸送の主体は船舶となっています。大型船は巨大インフラを備え、小さな市町村程度の社会を構成します。そのオペレーションには最先端の機器を効率よく利用するための技術者が不可欠です。船舶の運航においては船を動かす航海士、機関士だけでなく、造船所の設計・製造技術者、最速での安全航海を支援する気象予報会社、物流を最適化するロジスティクス企業まで多くの海事関連産業が関わっており、そのため本学卒業生には専門職としての幅広い就職先が待っています。最近ではSDG'sをめざす再生可能エネルギー関連として洋上風力発電設備業界においても人材が求められています。みなさんも海洋工学部で、海、船を通じて最先端の技術を習得し、幅広く国際社会で活躍できる未来を見つめて一緒に学びましょう。

キャンパスに残る日本の海の伝統 史跡が語る海洋工学部のあゆみ



● 一号館

一号館は、1923年(大正12年)の関東大震災によって焼失した木造校舎の跡地に、関係者の努力で1930年(昭和5年)起工、1932年(昭和7年)に完成し、校旗の掲揚式が荘厳に行われました。三階建ての屋上東側には航海船橋を模した建造物があり、各種航海機器が配置されていました。この一号館は1997年(平成9年)に国の登録文化財に指定されました。



● G.E.O.ラムゼー功德碑

この碑は、G.E.O.ラムゼー船長の優れた人格に対する尊敬と称賛を永く記憶するために1886年(明治19年)3月の彼の没後1周年に門弟達が建てたものです。ラムゼー船長は、1876年(明治9年)6月1日に三菱商船学校(本学部の前身)の運用学教員として教壇に立ち、学生に航海術を教えた最初の先生でした。この碑は1992年(平成4年)に江東区登録文化財(歴史資料)に指定されました。



● 第一観測台

第一観測台は、1903年(明治36年)6月に建設され、赤道儀室と呼ばれていました。内部には東洋一といわれた最新鋭の天体望遠鏡(theodolite)を備え、屋根の半円形ドームは手動で360度の回転が可能でした。輸入煉瓦を用いた八角形の建物は貴重なものとして、1997年(平成9年)12月に文化庁から登録有形文化財に指定されました。



● 第二観測台

第二観測台は、1903年(明治36年)に第一観測台と共に建設され、子午儀室と呼ばれていました。内部には子午儀(Transit)という子午線方向にだけ動く望遠鏡と、精密に時刻を測定記録する印字機が置かれ、天体の子午線通過時刻の測定や、天体高度から緯度測定などを行うことができました。第一観測台と同様、登録有形文化財に指定されました。



● 菅船長石像

菅源三郎船長は、商船学校を1908年(明治41年)に卒業し、第二次世界大戦勃発時には長崎丸の船長として揚子江河口にてアメリカの客船プレジデントハリソンを発見し、これを追跡してかく座(船を浅瀬に乗り上げること)させるなどの功績を上げました。しかし、1942年(昭和17年)に長崎丸は長崎港外で機雷に接触して沈没。事後処理に奔走しましたが、その後他界されました。



● 百周年記念資料館

この資料館は一般によく見られる海事資料館とは異なり、本学100周年の歴史を軸とした商船教育史とその周辺の海事史を物語る資料を収集展示しています。また、この資料館の周りには、いくつかの記念物があり、正面にはアンカー(錨)が置かれています。これは、明治丸の係留用に使われていたアンカーの一つで、ポンド内に埋まっていたものを掘り出し、大学創立85周年を記念して置かれたものです。



● 明治丸

明治丸は1873年(明治6年)に日本政府が発注し、英国グラスゴーのネピア造船所で灯台巡回船として建造された補助帆付汽船であり、現存する我が国最古の鉄船です。1876年(明治9年)、明治天皇は東北・北海道巡幸の際に青森から函館経由横浜への海路に座乗されました。「海の記念日(海の日の前身)」(7月20日)は、明治天皇の横浜御帰着の日を記念したものです。1897年(明治30年)、海洋工学部の前身である商船学校に移管されて繋留練習船となりました。建設当時の帆装は2本マストのトップスルスクナーでしたが、1898年(明治31年)に3本マストのシップ型に改装されました。以来50余年にわたり教育訓練の場として活用されてきましたが、1964年(昭和39年)に商船教育の伝統を象徴する記念船として構内の一角に陸上固定されました。1978年(昭和53年)、我が国造船技術史上も貴重な遺物として国の重要文化財に指定され、その優美な姿が永久に保存されることとなり、1980年(昭和55年)度から8年計画で文化庁及び旧東京商船大学により保存修理及び基盤整備の工事が行われ、1988年(昭和63年)に初の修復工事、そして2015年(平成27年)に2度目の修復工事が完了しました。

Steps to become a professional in the future

何を学び、培い、育てるか— 未来を担うプロフェッショナルへのステップ

海洋工学部は海運・海事関連産業のみならず、電子、機械、流通、物流、情報、通信などの幅広い分野の次世代を担う高度な専門技術者を養成しています。
「海事システム工学科」「海洋電子機械工学科」「流通情報工学科」の3つの学科では各々工学的かつ実践的な教育研究を行い、卒業生が即戦力として各フィールドで活躍できる知識と技術を養います。

海事システム工学科

Maritime Systems Engineering



船舶を運航するための知識と技術

船舶を管理・保守するための知識と技術

海運に関する法律、経営、保険の知識

目指せる職種

船長・航海士 / 船舶運航管理者 / 港湾事業者 / 造船技術者 / 海洋開発技術者
教育・研究者 / 海事コンサルタント / 情報システム技術者 / 通信事業者 / 公務員

活躍できる業界

海運 / 運輸・航空関連 / 港湾・倉庫 / 造船 / 商社 / 保険
教育・研究機関 / 機器メーカー / 情報サービス / 通信



国立研究開発法人
海上・港湾・航空技術研究所
河島 園子 さん



日本無線株式会社
大家 俊平 さん



株式会社商船三井
[航海士]
萩原 啓太 さん



川崎汽船株式会社
[航海士]
金 成旭 さん



日本郵船株式会社
[航海士]
井上 美樹 さん



国土交通省
寺山 正芳 さん



公益社団法人
日本海難防止協会
福田 友子 さん



郵船クルーズ株式会社
[航海士]
大塚 帆隼 さん



パイロット[水先人]
木原 悠貴 さん

海洋電子 機械工学科

Marine Electronics and Mechanical Engineering



船舶などのエンジンシステム

省エネルギーや環境負荷低減の技術

ロボットや機械システムの設計と開発

目指せる職種

機関長・機関士 / プラント技術者 / 建設設備技術者 / 機械・電子機器の開発設計技術者
サービスエンジニア / システムエンジニア / 教育・研究者 / 公務員

活躍できる業界

海運 / プラント / 建築設備 / 造船 / 陸運 / 輸送機器
教育・研究機関 / 機械 / 電気・電子 / 商社



日本電信電話株式会社
星野 安泉 さん



大島商船
高等専門学校 [教員]
松村 哲太 さん



富山県立氷見
高等学校 [教員]
立花 龍司 さん



日本郵船株式会社 [機関士]
川原 光二郎 さん



志賀国際特許事務所
竹場 准也 さん



株式会社商船三井
[機関士]
椎葉 萌佳 さん



株式会社グローバル
オーシャンディ
ベロップメント [機関士]
池上 朝登 さん



ヤマハ発動機
株式会社
井上 良太 さん



東芝エレベータ
株式会社
中川 美奈 さん

流通情報工学科

Logistics and Information Engineering



商品の生産・輸送・販売を管理する手法

AIやデータサイエンス等により課題を解決する能力

経済活動と産業・企業経営のメカニズム

目指せる職種

コンサルタント (物流・経営・交通計画) / データサイエンティスト /
システムエンジニア / ITエンジニア / 教育・研究者 / 公務員

活躍できる業界

運輸 / 製造 / 卸・小売 / 情報通信 /
サービス / 行政 / 学術研究 / 不動産



ダイキン工業
株式会社
小川 叶子 さん



エバラ食品工業
株式会社
近藤 里香 さん



日本信号株式会社
藤田 信輔 さん



株式会社
ホンダロジスティクス
増田 匡治 さん



日本通運株式会社
藤田 悠貴 さん



キヤノン株式会社
鈴木 葵 さん



三菱倉庫株式会社
石尾 慎太郎 さん



郵船ロジスティクス
株式会社
増田 雄介 さん



東洋ビジネスエンジニア
リング株式会社
野里 友絵 さん

理論と実践を結びつけた、
一貫した工学教育

募集人数
59名



船舶は“一つの街”と形容されるように、移動するための様々な機械や電子制御装置と生活に必要な機器も備えた高効率システムです。本学科では、この先端技術を備えた船舶機関・海洋関連機器を教材に知識と技術を修得します。実際の船舶機関システムを自分の手で操作できるなど、国内大学でも限定少数にしか経験できない多くの実験・実習を取り入れたきめ細かな指導も特徴です。

■ コースツリー Course tree ※ カリキュラムは変更の可能性あり

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 進学 | |
|--------|---|--|--|--|-------|--|
| 専門科目 | <ul style="list-style-type: none"> ● 機械加工学 ● 機関システム工学入門 ● 水泳実習 ● 短艇実習 ● 情報処理基礎論 | <ul style="list-style-type: none"> ● 船舶工学I ● 材料力学 ● 機械工学実験・実習I ● 金属材料学 ● 流体工学 ● 工業熱力学A ● 工業熱力学B ● 基礎電子工学 ● 船舶工学II ● 計測工学 ● 船舶実習I ● ターボ動力工学I ● 内燃機関工学I ● 補助機械工学 ● 環境材料学 ● 機械力学 ● 伝熱工学 ● 電気工学 ● 制御工学IA ● 制御工学IB ● 機械設計製図I | <ul style="list-style-type: none"> ● 機械工学実験・実習II ● 制御工学II ● 制御工学III ● エネルギー工学 ● 冷凍空調工学 ● 材料・機械力学演習 ● 半導体工学 ● ロボット工学I ● 機械設計製図II ● 制御システム工学演習I ● 制御システム工学演習II ● 船舶実習II ● ターボ動力工学II ● 機関システム管理工学 ● 内燃機関工学II ● トライボロジー ● 熱流体工学演習 ● 電子回路論 ● 電子機械工学ゼミナール ● ロボット工学II | <ul style="list-style-type: none"> ● 船舶実習III ● 海事法概論 ● 船舶医学 卒業研究 | 乗船実習科 | |
| 専門導入科目 | <ul style="list-style-type: none"> ● 物理学実験 ● 計算機科学 ● 化学熱力学 ● 統計学 ● 物理学 ● 線形代数I ● 微分積分I ● 微分積分II ● 天文学A ● 天文学B | <ul style="list-style-type: none"> ● 数学演習 ● 力学 ● 線形代数II | <ul style="list-style-type: none"> ● 電磁気学 ● 物質科学 ● 常微分方程式 ● Interactive English ● Intensive English | | 大学院 | |
| 総合科目 | <ul style="list-style-type: none"> ● Basic English I, II ● Practical English I, II ● データサイエンス入門A ● データサイエンス入門B ● 日本語表現法 ● スポーツI ● スポーツII | <ul style="list-style-type: none"> ● 現代倫理学 ● 健康科学 | <ul style="list-style-type: none"> ● 政治学 ● ヨーロッパ思想 | <ul style="list-style-type: none"> ● 芸術学 ● 生命・環境文化 | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 機関システム工学コース ● 制御システム工学コース | | | |

海洋電子機械工学科



Marine Electronics and Mechanical Engineering

船舶に搭載されている様々な機械を題材に、省エネルギー技術や環境保全技術について学ぶことができます。多くの実験・実習を通して、実務に直結する知識を身につけた卒業生は、リーダーシップをとれるエンジニアとして、海でも陸でも様々なフィールドで活躍しています。

教育のポイント
Key Educational Points

- 01 ものづくりのエキスパートになろう！！
海洋電子機械工学科では、船舶機関・海洋関連機器に関する実験装置等を使って知識と技術を修得するとともに、海事産業を含む幅広い分野で活躍できる高効率で安全なシステムを設計・管理するための力を身に付けます。
- 02 多くの実験・実習を取り入れた総合工学教育
豊富な実験・実習を通して、授業で得た知識と実務を結び付けます。具体的にはディーゼルエンジンの運転管理、効率測定や、ロボットアームの実機を用いた双腕協調作業、超小型複合サイクル機関の実験・実習などを通して応用力・創造力のある専門技術者を育成しています。
- 03 「なぜ」を考える。実践する。
船舶機関・海洋関連機器などの大型プラントの運用・保守管理やエネルギーシステム、海洋ロボット、電子制御機器、材料などの研究開発・設計・製造の先端技術分野で幅広く活躍でき、また海事産業などの専門領域で希少人材を育成します。「もの」をつくり、動かし、大切に使う技術とともに、船舶機関・海洋関連機器・環境エネルギー・海洋開発などの機器に興味があり、向上心を持った学生を求めています。

1・2年次

3・4年次

共通

数学や物理・化学などの理工系の必修科目、流体工学や基礎電子工学などの工学系基礎科目をはじめ幅広い分野の科目を学びます。

▶ 船舶実習 I

2年次(10月)に1ヶ月間の船舶実習があります。日本沿岸を航海する実習で、共同生活をします。全員必修です。

▶ 機械工学実験・実習 I

溶接、機械加工、熱処理、仕上げ・組立、プログラミング演習について、実際の「もの」に触れ、身体を動かして学びます。



▶ 機関システム工学コース

船舶機関や設備の運用、保守管理などに対応できる船舶技術者、機関学の知識を活かせる陸上関連分野の技術者になるために必要な知識を学びます。

▶ 制御システム工学コース

海洋機械や電気設備とこれらの制御システム、電子機器、材料等の開発、設計製造等を指導することのできる、技術者・研究者になるために必要な知識を学びます。

▶ 船舶実習 II

3年次(11月・12月)に独立行政法人海技教育機構の練習船に乗船して2ヶ月間の実習を行います。

▶ 制御システム工学演習

1ヶ月の集中演習。ライトレースロボットの製作を通じて制御の基本、回路設計、駆動部設計を経験します。



■ 研究設備等 Research facilities



電池推進船「らいちょうN」



電子制御式船用2ストロークディーゼル機関



エンジンルームシミュレータ



ROV (水中遠隔操縦ロボット)

生産から流通、消費まで

ロジスティクスを多角的に学ぶ

募集人数

42名



■ コースツリー Course tree ※カリキュラムは変更の可能性あり

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 進学 |
|-------|--|--|---|------|----|
| 情報系 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎プログラミング演習 情報処理基礎論 | <ul style="list-style-type: none"> 最適化数学 複素解析 流通情報システム データサイエンスAI実践 データ構造とアルゴリズム データベース工学 応用プログラミング | <ul style="list-style-type: none"> 機械学習 数値解析 データサイエンス | | |
| 工学系 | <ul style="list-style-type: none"> 物流施設計画学 ロジスティクス概論 国際輸送工学 | <ul style="list-style-type: none"> 物流リスク工学 流通最適化学 流通基盤計画学 流通情報工学実験 | <ul style="list-style-type: none"> 流通オペレーションズ・リサーチ 流通情報工学演習 通関実務論 交通計画学 作業管理工学 港湾環境工学 ロジスティクス実務論 | 卒業研究 | |
| 社会科学系 | | <ul style="list-style-type: none"> 流通経済論 国際経済論 公共政策とビジネスのための経済理論 管理会計 ミクロ経済理論 | <ul style="list-style-type: none"> マーケティング論 マーケットデザイン論 国際交通論 流通データ分析 保険法 海法I | | |
| | Practical English I, II Basic English I, II | Interactive English | Intensive English | | |
| | | 工学系基盤科目 | | | |
| | 文科学系・哲学・科学論系、社会科学系科目・第二外国語など | | | | |

私たちの生活や企業の経営と密接にかかわるロジスティクスについて、工学系(経営工学・管理工学・都市計画)、情報系(数理工学・情報工学・プログラミング・データサイエンス)、社会科学系(経済学・経営学・商学)の3分野から総合的に学習します。また、ゼミナール・演習・実験などの少人数クラス、海外インターンシップなどを通じ、問題解決やコミュニケーションの能力を高めていくことを目指しています。

■ 授業紹介 Class introduction

工学系カリキュラム

原材料の調達から生産、そして、商品の販売に至るモノの効率的な流れを実現するために、在庫管理、配送計画、施設計画、データ分析などの手法を学びます。また、実験では、実物のコンテナや電子タグを用いた計測を行います。

物流リスク工学

安全・安心な国際物流を実現するために、リスク管理の基礎理論と情報通信技術を活用した貨物管理手法を習得します。

情報系カリキュラム

実際のモノの流れを支える情報の流れ(情報流)を理解するために、アルゴリズム、データサイエンス、機械学習、最適化、確率、認知科学などを学びます。また、演習を通じてプログラミングの実践的な力を身につけます。

データサイエンス・機械学習

流通における様々な課題を解決するために、AIやデータサイエンスについて学びます。

社会科学系カリキュラム

流通や交通にかかわるさまざまな経済活動や関連する政策について学ぶとともに、産業・企業や国際経済の動向について広く学びます。これらの考察を通じ、経済の仕組みとそのメカニズムや企業の機能について理解することを目指します。

国際経済論

国際貿易・直接投資・国際経営・貿易政策の理論を踏まえ、国際経済の仕組みとそのメカニズムについて考察します。

▶ 授業で関係する内容を学べる資格

情報処理技術者、通関士、中小企業診断士、ビジネス・キャリア検定(ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション)



流通情報工学科

Logistics and Information Engineering



What is Logistics?
ロジスティクスとは?



コンビニで買うサンドイッチも、自動販売機で買うジュースも、デパートで買う洋服も、みな工場や生産地から運ばれてきます。また、冷凍の宅配便のように、商品の品質を保ちながら運ぶものもあります。これらの商品や貨物を、ムダがないように、効率よく「生産したり、運んだり、保管すること」をロジスティクスと言います。そしてロジスティクスでは、輸送や保管だけでなく、商品の発送システムや品質を保つための技術、さらにはトラックを運行する情報システムなども必要です。流通情報工学科では、工学系カリキュラム、情報系カリキュラム、社会科学系カリキュラムの3つからロジスティクスを勉強します。

部活・サークル紹介 Clubs and Circles

60を超える部活・サークルが活動をしています。越中島と品川それぞれのキャンパスで活動する団体、両キャンパスにまたがって活動する団体など様々です。

ロボット研究会



部員数
19人

海洋大で唯一のモノづくりサークルです！ロボコンへの出場や展示会への出展を目標に活動を行っています。2023年度は、継続開発を行う水中ロボットの製作や、1年生主体で飛行ロボコンへの機体開発を行いました。また、Maker Faire Tokyo2023という展示会へ出展し、多くの技術者と交流を行いました。実際に手を動かして物を作り展示まで行うといった経験は、貴重な体験になります。私たちと一緒に、モノづくりの楽しさを体験してみましょう！

活動場所 越中島キャンパス 寮地区 部室棟 一番右側の居室

2024年度は新入生勧誘会として部員が製作した機体の操縦体験会を検討しています！情報は随時twitterにて更新予定のためこちらから確認をお願いします。

X(旧Twitter):@Roboken_kaiyo

海事普及会



部員数
38人

海事普及会では海、船の事を多くの方に知ってもらうため巡回活動や地域のイベントへの参加、プラネタリウムの公開などを行っています。巡回とは子どもたちに海や船の重要性や面白さを地方に向いて伝える活動です。地域のイベントでは手旗信号やロープワークなどを通して海の文化を知ってもらえるような活動を行っています。また、現役日本最古の国産プラネタリウムの維持管理を行っており、プラネタリウムを用いた海事普及活動にも取り組んでいます。

活動場所 週に1回、水曜日18:00から部会を開催しています。イベントに参加したり、地方に向いての活動もあります。

海と船の普及活動で全国の小中学生に会いに行くことができます。サークル内だけでなく、様々な人との出会いがあります。

X(旧Twitter):@kaifu_kaiyodai HP:https://kaijifukyu.main.jp/

硬式テニス部



部員数
17人

硬式テニス部は毎週土曜日10時から練習を行っています。部員は初心者から経験者までさまざまです。年間の予定としては、5、6月に国公立戦、8月に個人戦、10月に関東理工科リーグ戦、11月に1、2年生のみが出場できる新人戦があります。また、春休みと夏休みに2泊3日で合宿を行う予定です。団体戦では品川キャンパスのテニス部の人と一緒に試合に出るため、近年交流が増えています！

活動場所 越中島キャンパステニスコート

テニス部に入ると、テニスコートは空きコマや授業終わりなど好きなときに使い放題です！

X(旧Twitter):@kaiyoutennis Instagram:@kaiyodai._.tennis

木曜会



部員数
22人

木曜会は「ピンネス」と呼ばれる小型帆船に乗り組んで海の上をセーリングする部活動団体です。帆船を動かすためには、風を読む技術や整備の仕方、海上交通のルールなど海に関する幅広い知識と技能を習得する必要があり、部員たちと共に日々切磋琢磨しつつ和気あいあいと活動中です！活動日は週3日程度(平日2日+土曜日)部費なし・部室完備です！いずれは大学から伊豆大島まで巡航(遠征)を成功させるつもりです！

活動場所 通常活動日:大学ボンド及び豊洲・隅田川水域
セーリング:千葉県浦安沖、千葉県富浦湾、東京都伊豆大島

木曜会は80年以上も伝統のある海洋大でしかできない日本で唯一無二の部活動です！海洋大生でもなかなかできない船乗りっぽい経験ができます。海や船に関心のある方も、ない方も是非私達と一緒に風の力を感じてみませんか？

X(旧Twitter):@tumsat_MOKU

海洋工学部の令和7年度入学者選抜試験について

海洋工学部は、秋に総合型選抜、年明けに一般選抜を実施しています。入試日程は下記のとおりいずれも3学科共通となっています。

総合型選抜

| | |
|------|--|
| 選抜区分 | A 一般 B 専門学科・総合学科卒業生 C 帰国生 D 商船教員養成コース E 社会人 |
| 入試日程 | 出願期間 令和6年 9月 2日(月)～ 6日(金) 第1次選抜 令和6年 9月11日(水)～19日(木) 第1次選抜合格発表 令和6年10月11日(金) 第2次選抜 令和6年10月18日(金) 最終合格発表 令和6年11月15日(金) |
| 試験内容 | 第1次選抜:書類選考 【3学科共通】志望理由・自己推薦書と調査書等に基づき、総合的に評価 第2次選抜:筆記試験・面接 【3学科共通】課題学習能力試験(数学・英語) 【海事システム工学科・海洋電子機械工学科】 模擬授業・課題論文 【流通情報工学科】小論文 |

一般選抜 (大学入学共通テストの受験が必要)

| | |
|------|--|
| 入試日程 | 出願期間 令和7年1月27日(月)～2月5日(水) 前期日程試験日 令和7年2月25日(火) 合格発表 令和7年3月 7日(金) 後期日程試験日 令和7年3月12日(水) 合格発表 令和7年3月21日(金) |
| 試験内容 | 前期日程 数学 / 英語 後期日程 物理 / 英語(流通は英語のみ) |

※大学入学共通テストで必要となる教科・科目については、本学の入学者選抜要項、一般選抜学生募集要項を確認してください。

留学について Study Abroad

本学は世界各国の大学と短期交換留学という形で学生交流に関する協定を結んでいます。交換留学には、「受け入れ大学は入学金、授業料を徴収しない」「履修した科目の単位を認定できるようにする」「適当な宿舎が探せるよう受け入れ側で援助する」などのメリットがあります。 ※本学の授業料を納入する必要がありますが、海外の大学の授業料が日本より高額なので有利です。



海洋工学部と教育研究分野で関連のある協定校の一例としては、大連海事大学、上海海事大学、浙江海洋大学(中国)、韓国海洋大学、釜山大学校(韓国)、ハノイ工科大学(ベトナム)、カセサート大学(タイ)、イスタンブール大学(トルコ)、ノルウェー科学技術大学(ノルウェー)、ヴィクトリア大学(カナダ)、サンパウロ大学(ブラジル)などがあります。また、令和5年度では14名の学生が、中国やシンガポール、タイ、ベトナムの大学や研究機関、現地企業等と連携して実施する海外インターンシップに参加しました。

就職・進路・支援制度

Career Support

船出するキミへ幅広い未来の選択肢

他では学べない「即戦力」となる知識と技術を学ぶことができる海洋工学部。東京海洋大学創立当初から、常に高い就職率を維持しています。海運業のみならず、機械・電気・情報産業、建設等と求人幅も広く、卒業生は専門的な技術と知識を活かし、多方面での活躍が期待されています。

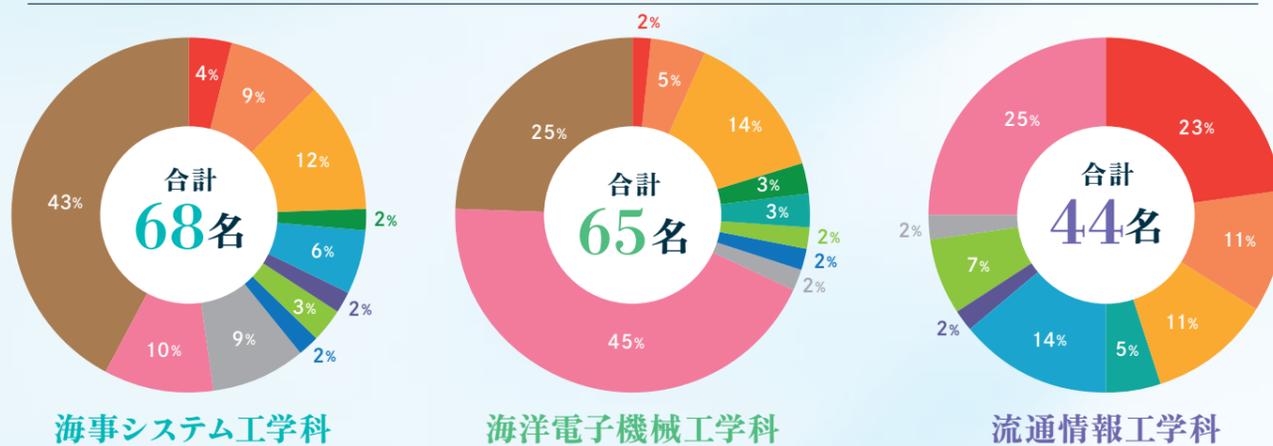
キャリア&就職支援

積み重ねた実績と、充実のサポートで一人ひとりのキャリア形成を支援します

- 1 少数教育と実学が支える高就職率
- 2 専門知識を活かせる職種での優位性
- 3 卒業後高収入ランキング上位常連校

進路と主な就職業種

※グラフの数値は、端数処理(四捨五入)のため合計が100%にならない場合があります。
※2022年度実績



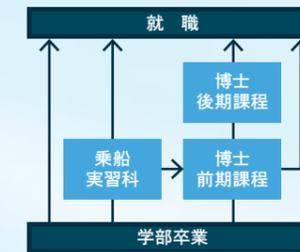
■ 運輸業、郵便業 ■ 情報通信業 ■ 製造業 ■ 建設業 ■ 金融業、保険業 ■ 公務 ■ サービス業
■ 電気・ガス・熱供給・水道業 ■ 学術研究、専門・技術サービス業 ■ 大学院(進学) ■ 乗船実習科(進学) ■ その他

就職先企業例 (大学院修了者も含む)

| | |
|-----------|---|
| 海事システム工学科 | 日本郵船 / 商船三井 / 川崎汽船 / 飯野海運 / NSユニテッド海運 / 三菱鉱石輸送 / 出光タンカー / JXオーシャン / 川崎近海汽船 / 旭タンカー / 日本海洋掘削 / 深田サルベージ / 日本サルヴェージ / 田淵海運 / 郵船クルーズ / 商船三井客船 / 商船三井フェリー / 阪九フェリー / 日本通運 / ロジスティード ヤマトロジスティクス / 三井倉庫ロジスティクス / 郵船ロジスティクス / 三菱倉庫 / 宇徳 / センコー商事 鈴与 / ANA Cargo / 日本無線 / 東京計器 / 横河電子機器 / NECエンジニアリング / 日立造船 / 三井E&S造船 / 新来島どっく / 内海造船 / 五洋建設 本田技研工業 / 富士通 / 日本船主責任相互保険組合 / 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 / 東京ガス / 日本気象協会 / 日本海事検定協会 / 東洋信号通信社 / 国土交通省 / 海上保安庁 / 東京税関 / 海洋研究開発機構 / 海上・港湾・航空技術研究所 / 海技教育機構 など |
| 海洋電子機械工学科 | ジャパンマリンユニテッド / 三井E&S造船 / 三菱造船 / 今治造船 / 日立建機 / IHI原動機 / ヤンマー / いすゞ自動車 / スズキ / ヤマハ発動機 / 住友重機械工業 / アズビル / NOK / かもめプロペラ / キヤノン / セイコーエプソン / パナソニック / 三菱電機 / ダイキン工業 / 富士通ゼネラル / 石井鐵工所 / 前川製作所 / 東芝キャリア / 荏原製作所 / 住友化学 / 飯野海運 / 出光タンカー / NSユニテッド海運 / 川崎汽船 / 商船三井 / JXオーシャン / 日本郵船 / JR東日本 / 全日本空輸 / 日本海洋事業 / 日本海洋掘削 / 五洋建設 / 日立造船 / 本田技研工業 / 三菱自動車 / 東北電力 / 日本原子力発電 / 国土交通省 / 警視庁 / 日本海事協会 / 水産系高校 / 高専 / 海技教育機構 など |
| 流通情報工学科 | りそなホールディングス / 日本放送協会 / 全日本空輸 / NTTデータ / サイバーエージェント / 花王 / トヨタ自動車 / 鹿島建設 / 東京都庁 / 国土交通省 / キューソー流通システム / コマツ物流 / エバラ食品工業 / ダイキン工業 / TOTO / 国分 / F-LINE / いすゞ自動車 / オカムラ / キヤノン / 鴻池運輸 / 山九 / JR 東日本 / JR東日本情報システム / 三井倉庫サプライチェーンソリューション / ダイフク / SBS東芝ロジスティクス / ニチレイロジグループ本社 / 日通NEC ロジスティクス / 日本通運 / 日本バレットレンタル / ロジスティード / フコク情報システム / 富士通 / 三井住友海上火災保険 / 三菱商事ロジスティクス / 三菱倉庫 / 三菱電機ロジスティクス / 安田倉庫 / 郵船ロジスティクス など |

大学院・海洋科学技術研究科

海洋科学技術研究科では、海洋工学部と海洋生命科学部、海洋資源環境学部の専門領域を深化・融合させた新しい領域における教育研究を行います。本研究科は博士前期課程と博士後期課程の2区分制となっており、博士前期課程では学部専門基礎教育に立脚した高度専門職業人などを育成し、博士後期課程では先端領域を切り拓く自立した高度技術者や研究者を育成します。



| 課程 | 専攻 | 専攻分野 |
|---------------|-------------|--|
| 博士前期課程 (修士課程) | 海洋システム工学専攻 | 動力システム工学、海洋機械工学、海洋サイバネティクス、海洋探査・利用工学 |
| | 海運ロジスティクス専攻 | 情報システム工学、環境システム工学、海洋テクノロジー学、海上安全テクノロジー、流通システム工学、流通経営学 |
| 博士後期課程 (博士課程) | 応用環境システム学専攻 | 海洋環境学、環境保全システム学、海洋利用システム学、海上安全テクノロジー、ロジスティクス、海洋機械システム学、産業政策文化学、海洋探査・利用工学 |

乗船実習科

海事システム工学科および海洋電子機械工学科機関システム工学コースの卒業生に対して、6か月間の乗船実習科が設置されています。乗船実習は、独立行政法人海技教育機構または船会社の練習船を用いて行われ、大型船舶の船舶職員として必要な様々な知識・技術を習得します。海洋工学部及び乗船実習科は、三級海技士(航海・機関)の第一種養成施設として国から指定を受けており、乗船実習科を修了した者は、三級海技士(航海)または三級海技士(機関)の国家試験のうち筆記試験が免除されます。以下の健康診断基準を満たしていない場合、乗船実習科進学に必要な科目の履修に制約を生じることがあります。海技免許の取得を希望する場合は、出願前に以下の健康診断基準を満たしていることを確認してください。



| 項目 | 海事システム工学科(航海士) | 海洋電子機械工学科(機関士) |
|----------------|---|----------------|
| 視力 | 視力(矯正視力を含む)が両眼共に0.5以上であること。 | |
| 色覚 | 船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。 | |
| | 基準 | 基準 |
| 聴力 | 5メートル以上の距離で話言葉を弁別できること。 | |
| 握力 | 男子の握力は、左右共に25キログラム以上、女子の握力は左右共に17キログラム以上であること。 | |
| 疾病及び身体機能の障害の有無 | 心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること。(海技免許の取得・更新のためには、上記の障害により「船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること」が求められます。) | |

進路指導

本学部では入学時から卒業後の進路を考えて学生生活を送るよう指導するために、定期的にオリエンテーションを実施しています。就職を目指す学生に対しては、3年生の学年当初からオリエンテーションを実施し、インターンシップ、企業見学、OB訪問など積極的に行うよう指導しています。また大学主催の就職セミナーなどへの参加を強く指導し、来たるべき就職活動に備えさせています。

インターンシップ

学生が自らの専攻、将来の職業に関連した企業などにおいて就業体験を行うことにより、実務に対する理解を深め能力を向上させるために、東京商船大学当時の平成11年度よりインターンシップを「学外実習」という授業科目で3年次に開設しています。本学部では学生が積極的にインターンシップに参加するよう指導しています。本学部の学生のインターンシップ先は、主に船社、物流会社、海事関連団体・独立行政法人などです。新たなインターンシップ受け入れ先の開拓に教員、職員共に努力しています。

大学院進学指導

本学部では、本学大学院への進学も奨励しており、学部4年間の勉学を基礎に、様々な専門分野で更に研鑽を積み、社会に貢献する学生を送り出しています。

企業説明会等

企業の人事担当者などを招いて、個別または合同の企業説明会を学内で実施し、学生が企業を知る機会を増やすよう務めています。

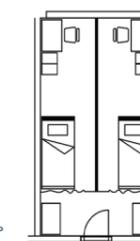
学生寮「海王寮」



越中島キャンパス

海王寮は緑が多く、校舎に隣接しており、東京駅から2駅の都心に位置する好条件のロケーションにあります。

※エレベーターは設置されていません。
※2人部屋の準個室です。
※風呂・トイレ・キッチンは共同利用です。



2024年度

| | | |
|---------------|-------------|-------------------|
| 定員 | 334名 | 男子:258名 女子:76名 |
| 寄宿料 | 3,000円/月 | |
| その他の経費(光熱水費等) | 10,500円程度/月 | |

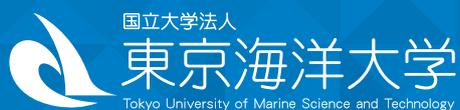
※寄宿料等は改定される場合があります。その他、入寮時に入寮費等が必要となります。

キャンパス公開日程(予定)

■■■

- 1 6月上旬海王祭
- 2 7月上旬公開講座(要事前申込)
- 3 7月中旬「海の日」記念行事
- 4 7月下旬オープンキャンパス
- 5 10月下旬オープンキャンパス

※日程及び申込方法等の詳細は、
大学ホームページ(<https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/e/>)に
掲載される情報をご確認ください(掲載予定時期:開催1ヶ月前)。



海洋工学部

海事システム工学科 / 海洋電子機械工学科 / 流通情報工学科



〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6

- JR 京葉線・武蔵野線 越中島駅2番出口 より徒歩2分
- 地下鉄 東西線・大江戸線 門前仲町駅4番出口 より徒歩10分
- 地下鉄 有楽町線・大江戸線 月島駅2番出口 より徒歩10分

入試に関する問い合わせ先
入試課入試第一係 TEL: 03-5463-0510



<https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/e/>